

# 安全報告書

平成 27 年度



平成 28 年 8 月

あいの風とやま鉄道株式会社

## 安全報告書 目次

ご利用のみなさまへ	1
1. 安全の基本方針と安全目標	2
(1) 安全の基本方針	2
(2) 安全目標	2
2. 平成 27 年度 鉄道運転事故及び輸送障害の発生状況	3
(1) 鉄道運転事故（列車衝突、列車火災、列車脱線、踏切障害事故など）	3
(2) 輸送障害（旅客列車に 30 分以上の遅延や運休など）	3
(3) インシデント（事故に至らない兆候事象）	3
(4) 行政指導等	3
3. 安全管理体制と安全管理方法	3
(1) 安全管理体制	3
① 安全管理組織	3
② 各管理者の役割	4
(2) 安全管理方法	4
(3) 内部監査	6
4. 安全重点施策の内容と推移	7
(1) 設備の改修	7
(2) 社員の教育	7
(3) 他組織との合同訓練	9
(4) 自然災害への備え	10
5. 安全対策の実施費用	11
6. ご利用者・沿線の皆様との連携（お願い）	11
(1) 踏切を通られるときのお願い	11
(2) 踏切およびその付近で異常を発見したときのお願い	12
(3) 車内でのお願い	12
(4) ホームを歩かれるときのお願い	12
(5) 線路内に物を落されたときのお願い	12
(6) 不審物を発見したときのお願い	12
7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先	12

ご利用のみなさまへ

日頃より、あいの風とやま鉄道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社は平成 24 年 7 月に「富山県並行在来線準備株式会社」として設立しました。その後、平成 25 年 7 月に社名を「あいの風とやま鉄道株式会社」に変更し、平成 27 年 3 月 14 日、北陸新幹線金沢開業と同時に倶利伽羅～市振間(営業距離 100.1km)の運行を開始しました。平成 27 年度は鉄道事故の発生もなく 1,480 万人のお客様にご利用いただきました。

これまでの皆様方のご理解、ご支援に深く感謝を申し上げます。

鉄道を経営する当社にとって、「安全性の確保」は変わることのない最優先の命題です。私たちは、法令遵守のもと、社員ひとり一人がこのことをしっかり自覚し、「お客様の声」・「社員の声」を聞き、リスクに対する感度を磨くことにより、さらなる安全性の向上に向け、一丸となって取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、当社における輸送の安全確保の取組みや安全の実態について、自らを振り返るとともにお客様に広くご理解いただくために公表するものです。この報告書に対する皆様のご助言やご意見をお聞かせいただければ幸いに存じます。



あいの風とやま鉄道株式会社  
代表取締役社長 市井 正之

## 1. 安全の基本方針と安全目標

### (1) 安全の基本方針

安全を最優先するため、「運転安全規範（あいの風規第10号）」を定めています。

また、安全意識の高揚と具体的行動の実践を図るため、安全に係わる行動指針として「安全綱領」と「具体的行動（安全考動）」を携行し、職場における点呼や会議にて「唱和」しています。

#### 「安全綱領」

- (一) 安全の確保は、輸送の生命である。
- (二) 規程の遵守は、安全の基礎である。
- (三) 執務の厳正は、安全の要件である。

#### 「具体的行動（安全考動）」

1. 私たちは、「基本動作の実行」と「確認の励行」で安全輸送に徹します。
2. 私たちは、「法令」及び「社内規程」を理解し、「遵守」します。
3. 私たちは、「最も安全と認められる考動」で職務を遂行します。

### (2) 安全目標

当社は、「安全性の確保を最優先とし…」を社是として掲げ、その具体的目標を定め取り組みました。

- 『列車事故（列車衝突・脱線・火災事故）「0」』
- 『お客様はもとより当社作業にかかわる作業者の死亡事故「0」』
- 『部内要因における輸送障害件数を6件以下』

※ 輸送障害とは、鉄道事故等報告規則に定める、旅客列車に30分以上の遅れや運転休止となった件数です

系統	系統毎の目標値
指令	0
駅	0
乗務員	1
車両	3
施設	1
電気	1

## 2. 平成 27 年度 鉄道運転事故及び輸送障害の発生状況

鉄道運転事故の発生はなく、輸送障害が 16 件発生し多くが災害によるものでしたが、部内の原因による事象が 4 件発生しており、再発の防止を図っていきます。

### (1) 鉄道運転事故（列車衝突、列車火災、列車脱線、踏切障害事故など）

ありませんでした。

### (2) 輸送障害（旅客列車に 30 分以上の遅延や運休など）

- ・ 部内要因による障害（車両・信号設備、踏切道等）…………… 4 件
- ・ 災害による障害（雨、風、地震、雪等）…………… 8 件
- ・ 第三者による障害（踏切での自動車の脱輪、交通事故、沿線火災など） 4 件

### (3) インシデント（事故に至らない兆候事象）

ありませんでした。

### (4) 行政指導等

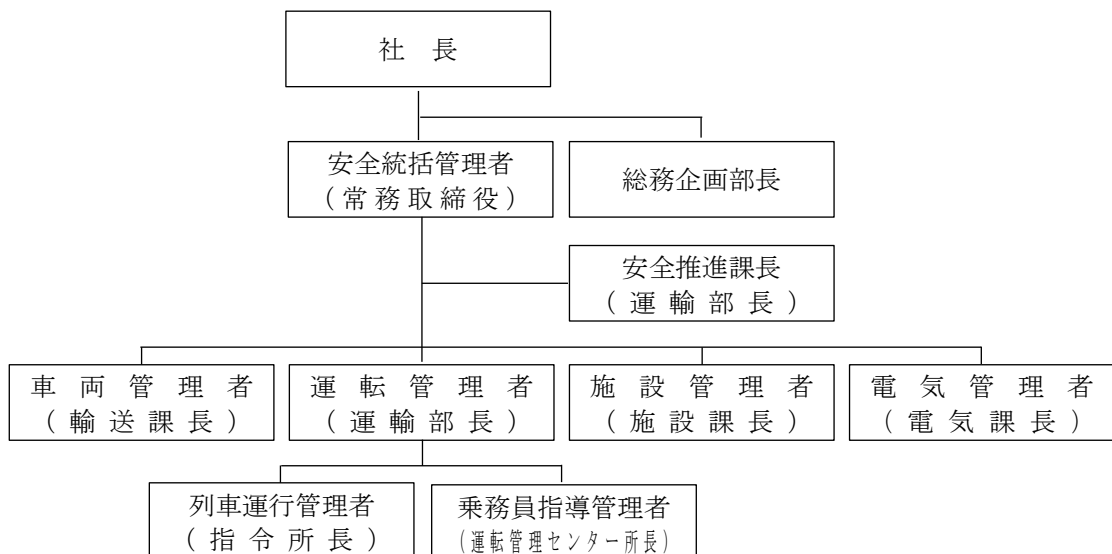
ありませんでした。

## 3. 安全管理体制と安全管理方法

安全の確保を図るため、社長を最高責任者として体制を構築し、安全統括管理者である常務取締役をはじめとする各管理者の役割と権限を定めています。

### (1) 安全管理体制

#### ① 安全管理組織



## ② 各管理者の役割

管理者	役割
社長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 (常務取締役)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者 (運輸部長)	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者 (運転管理センター所長)	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
列車運行管理者 (指令所長)	運転管理者の指揮の下、輸送計画の作成及び指令業務に関する事項を統括する。
施設管理者 (施設課長)	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
電気管理者 (電気課長)	安全統括管理者の指揮の下、電気に関する事項を統括する。
車両管理者 (輸送課長)	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総務企画部長	設備投資、財務及び要員に関する事項を統括する。
安全推進課長	安全統括管理者の指揮の下、安全の確保に関する事項を推進する。

## (2) 安全管理方法

### ① 安全の日の制定

創業日の24日を「安全の日」と定め、社長含めた各課長が現場に出向き、管理状況の確認や「社員の声」を聞いています。

### ② 安全推進委員会

毎月、社長をトップとし各管理者及び各現場長による安全推進委員会を開催し、前月の事故、輸送障害、ヒューマンエラー（安全報告）の報告について意見交換を行い、必要な事項を関係する社員へ指示してまいりました。

### ③ 社員の声

現場での抽出された課題については、自箇所ですぐ解決していますが、自箇所のみでは対処できない設備の改修等については、本社安全推進委員会で検討し、方針決定を行っています。

### ④ 安全衛生委員会

毎月、安全衛生委員会を開催し労働災害防止にむけた取組を進めています。

### 社員の声の例

(例-1) 富山駅上り線・高山線高架化工事に伴い、お客様の通行ルートが変更されました。駅ポスター等で周知を図ったものの、「わかり難い」との苦情が多くラッシュ時に「お客様同士がぶつかり、重大な怪我に至るのではないか」との声がありました。

⇒ 少しでも目に付くよう大きなサインを作成しました。  
(富山駅高架化工事の進捗により現在はありません)



(例-2) 「富山駅上り線・高山線高架化によりスラブ構造となり、枕木間に大きな落差が生じています。列車の分割作業の際、枕木間のすき間に足を落としねんざや骨折などの怪我に至る恐れがある」との声がありました。

⇒ 段差を解消しました。



(例-3) 呉羽トンネル付近で架線に、つる草等が接触することによる停電を防ぐため、事前に伐採を行っているが、トンネル上部へ行くため、樹木の枝等をつかみながら登っており、足を滑らせ墜落するリスクが高いとの声がありました。

⇒ 現地に階段を設置しました。



作業箇所<sup>①</sup>に階段を設置しました。

### (3) 内部監査

開業にあたり、運輸安全マネジメントへの理解をより深めるため、社長以下、管理者、現場長等が社外研修を受講し、内部監査員として指定しています。

平成27年度は、本社内運輸部の各課に監査を実施しました。

今後も、監査を通じ「PDCAサイクル」を廻し、継続的な改善に努めていきます。

#### 【運輸安全マネジメント研修の受講風景】



#### 【PDCAサイクル】





## 4. 安全重点施策の内容と推移

### (1) 設備の改修

設備の取替、改修等を計画的に行い、安全性の維持・向上を図ってまいりました。

【踏切遮断機交換風景（木舟踏切）】



【レール交換（泊駅）】



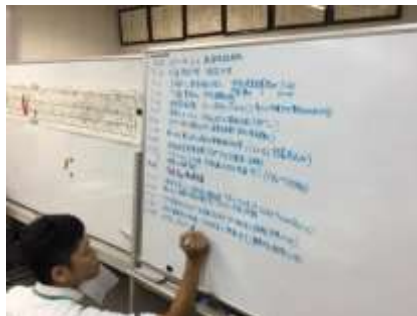
【ホーム照明のLED化（石動駅）】



### (2) 社員の教育

指令、駅、乗務員（運転士、車掌）、車両、施設、電気の各係員への教育訓練は、それぞれの職種に合わせて実施しています。訓練の内容は、規程はもとより異常時の取扱、過去の事故事例の研究、現車を使用した体験型の訓練等により技術・知識の習得を中心に行っています。

【全指令（輸送・旅客・運用・施設・電力・信通）が参加した異常時を想定した訓練】



【駅係員の現車や訓練機器を使用した連結訓練】



【施設係員によるレール折損措置訓練】



【電気係員による架線張替訓練】



【現車を使用したお客様対応訓練（車椅子でのご乗車や避難はしごによる降車介助）】



【現車による列車防護（列車を信号炎管等で止める）訓練】



### (3) 他組織との合同訓練

相互の連携強化を目的に、隣接する他の鉄道会社や委託会社との合同訓練はもとより、警察との合同訓練を実施しています。また、復旧技術の向上をめざし、競技会等への参加も行っております。

#### 【西日本旅客鉄道(株)金沢支社車両部門との合同訓練会】



#### 【富山県警との鉄道テロ対応訓練】



#### 【西日本旅客鉄道(株)金沢支社主催 電気関係技能競技会に参加】



#### (4) 自然災害への備え

ゲリラ豪雨・台風等の水害や雪害に備え、気象会社による気象予測情報を導入しております。併せて水害箇所への設備改修や雪害に備えた冬期前訓練を行うと共に12月1日から2月末日まで雪害対策本部を設置して対応にあたりました。

また、駅業務委託会社と合同で津波避難訓練を実施しました。

##### ① 水害に対する備え

水害箇所整備を行いました。



##### ② 雪害に対する備え

除雪に使用する機器について、事前に訓練を行っています。



### ③ 津波に対する備え

駅業務委託会社社員と合同で津波を想定した避難訓練を実施、配備している避難箇所MAP通りに避難できるか検証しました。



## 5. 安全対策の実施費用

線路や車両等、鉄道設備の安全性の維持・確保のため、投資・修繕を計画的に実施しております。平成27年度の安全のための費用は、769,334千円となりました。

項目	金額 (千円以下切捨)	備考
老朽設備取替額	136,890 千円	新しい設備への更新
保安防災対策額	77,101 千円	消雪設備の新設、夜間照明のLED化等
安全・安定輸送額	499,304 千円	安全に関する社員の声への対応、新指令所建設等
車両その他額	56,039 千円	車両検査器具、工具等

引き続き、お客様に安心してご利用いただけるよう取り組んでまいります。

## 6. ご利用者・沿線の皆様との連携 (お願い)

### (1) 踏切を通られるときのお願い

踏切を横断される際は、必ず一旦停止のうえ左右及び前方の確認をしっかりと行ってください。また、注意表示のある踏切では表記について特段の注意をお願いいたします。



## (2) 踏切およびその付近で異常を発見したときのお願い

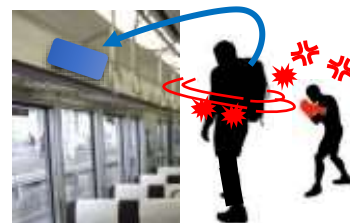
踏切で車が動けなくなったり、踏切の異常を発見された場合は、近くの非常押しボタンを押してください。運転士に異常を知らせ列車を緊急停車させます。



## (3) 車内でのお願い

少しでもゆったりとご乗車できるよう、ドア付近にかたまらず通路中央部へ分散してご乗車ください。

リュックサックなどの大きな荷物は、手に持つか荷物棚をご利用いただきますようお願いいたします。



## (4) ホームを歩かれるときのお願い

歩きながらの携帯電話のご使用は、ホームからの転落、お客様同士の衝突や列車との接触の恐れがあり大変危険ですのでお控えください。



## (5) 線路内に物を落されたときのお願い

線路内に物を落されたときは、駅係員もしくは乗務員にお知らせください。むやみに線路に下りられることは、列車との接触につながる恐れがたかく大変危険ですのでお止めください。

## (6) 不審物を発見したときのお願い

駅構内や車内で不審物を発見した場合は、触れたり匂いを嗅いだりせず、駅係員又は乗務員にお知らせください。

## 7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

鉄道安全報告書のご感想、弊社の安全への取組に対するご意見をお寄せください。

〒930-0858 富山市牛島町 24 番 7 号

あいの風とやま鉄道株式会社

TEL 076 - 444 - 1300 (営業時間：平日 8:30～17:15)

弊社 HP からのご意見をお寄せいただけます。

<http://ainokaze.co.jp/guide/contact>